

会 議 録

会議名	第4回 和泉市総合計画審議会
開催日時	令和2年8月25日（火）午後2時から午後4時まで
開催場所	和泉市コミュニティセンター1階大集会室
出席者	<p>（委員）阿部昌樹会長、辻本法子副会長、吉川茂樹委員、大浦まさし委員、山本秀明委員、早乙女実委員、松田義人委員、宮本英昭委員、山下隆也委員、西田清委員、辻林修委員、坂東剛委員、上西恵子委員、佐藤正浩委員、泉谷良委員、合田耕三委員、井上裕信委員、阿部俊明委員、池上博之委員、中野直樹委員</p> <p>※山中康史委員は、欠席</p> <p>（事務局）辻市長、石川副市長、藤原副市長、森吉参与、八木市長公室長、山崎政策企画室長、奥企画経営担当課長、西川政策推進担当課長、高垣総括主幹、和田総括主査、堀田主事</p>
議事次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 第5次和泉市総合計画（改訂版）（案）の検討について</li> <li>2 第5次和泉市総合計画（改訂版）（案）及び第2期和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）のパブリックコメント結果の検討について</li> <li>3 第5次和泉市総合計画（改訂版）（案）及び第2期和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）への答申（案）の検討について</li> <li>4 今後のスケジュール等について</li> <li>5 その他</li> </ol>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○会議次第</li> <li>○資料1-1 第3回和泉市総合計画審議会における意見を踏まえた検討事項</li> <li>○資料1-2 第3回審議会における意見を踏まえた第5次和泉市総合計画（改訂版）（案）の修正箇所について</li> <li>○資料2 第5次和泉市総合計画（改訂版）（案）及び第2期和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）のパブリックコメントに対する事務局対応方針（案）</li> <li>○資料3 第5次和泉市総合計画（改訂版）（案）及び第2期和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について（答申）（案）</li> <li>○資料4-1 第5次和泉市総合計画（改訂版）（案）の修正箇所について</li> <li>○資料4-2 第2期和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）の修正箇所について</li> <li>○資料5 第5次和泉市総合計画の改訂及び第2期和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にかかる今後のスケジュールについて</li> </ul>
会議の要旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5次和泉市総合計画（改訂版）（案）、パブリックコメントに対する事務局対応方針、第5次和泉市総合計画（改訂版）（案）及び第2期和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）への答申について検討を行った。</li> <li>・本日の意見を踏まえ、修正箇所を会長とりまとめの上、第5次和泉市総合計画（改訂版）（案）及び第2期和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に対する答申を提出することとした。</li> </ul>
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
その他の必要事項	傍聴者 0名

発言者	審 議 内 容 (文中敬称略)
司会	<p><b>■ 開会挨拶</b></p> <p>大変長らくお待たせいたしました。定刻になりましたので、ただいまから第4回和泉市総合計画審議会を開催いたします。委員の皆様方におかれましては、公私ご多用のところ本委員会にご出席を賜り、厚くお礼を申し上げます。</p> <p>本日の会議でございますが、山中委員がご欠席、山下委員と坂東委員、泉谷委員が途中からのご出席とお伺いしておりますが、委員の半数以上がご出席いただいておりますので、会議は有効に成立してございます。なお、上西委員におかれましては、途中退席となる旨、伺っております。また、辻市長においては、現在、他の公務があるため、終わり次第、本会議に出席をする予定でございます。</p> <p>続きまして、本日の資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(資料確認)</p>
司会	<p>以上、資料の不足等はございませんでしょうか。</p> <p>それでは、これより議事進行は阿部会長にお願いいたします。どうぞよろしく願いいたします。</p>
阿部会長	<p><b>■ 和泉市総合計画（改訂版）（案）の検討について</b></p> <p>皆様、こんにちは。本日もよろしくお願いします。</p> <p>6月から始まった本審議会もいよいよ最終の4回目となり、本日で審議を終える必要がありますので、ご協力いただきますようお願いいたします。</p> <p>さて、前回までの審議の状況ですが、基本的には第5次和泉市総合計画改定版と第2期和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略について、皆様からいただいた意見全体を一通り審議し終えたという状況です。</p> <p>第2期総合戦略については、数値目標等を中心に検討を行い、審議が完了したところですが、総合計画については、再度、検討することとなった事項がありましたので、本日は、まず、その部分の審議を行いたいと思います。</p> <p>次に、両計画（案）に関するパブリックコメントを実施し、提出されたご意見に対する事務局の対応方針についても審議を行いたいと思います。</p> <p>その上で、市長の諮問に対する本審議会としての答申について審議をしたいと考えておりますが、これまで皆さまからいただいたご意見や議論を基に、事務局にて答申案を作成しておりますので、それをベースにご審議いただきたいと思います。</p> <p>それでは、基本的な審議の進め方について、改めて事務局からご説明お願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、事務局より審議の進め方についてご説明いたします。</p> <p>まず、今回配付している第4回資料の説明でございますが、資料1－1は前回の審議会において、委員の皆様からいただいたご意見と事務局の対応方針を記載したものでございま</p>

	<p>す。また、資料1-2は資料1-1の対応方針に基づき、修正を行った総合計画（改訂版）の新旧対照表で、見開き左側が再修正前、右側が再修正後の案となっておりますので、併せてご審議ください。</p> <p>次に、資料2は両計画（案）に係るパブリックコメントの結果と、提出された意見に対する事務局の対応方針を記載しております。</p> <p>次に、資料3は答申の案でございます。最初に鑑文をつけており、本審議会でもいただいたご意見を総括した内容としてございます。また、鑑文の後に本審議会でもいただいたご意見を反映した両計画（案）を添付しております。</p> <p>次に、資料4-1、4-2は両計画（案）について、審議会に諮る前の当初案と、現時点の答申（案）を比較したもので、見開き左側が当初案、右側が答申（案）になっております。</p> <p>最後に、資料5は今後のスケジュールを示したものです。</p> <p>審議の流れといたしましては、最初に資料1-1、1-2に基づき、前回の審議会における再検討事項についてご審議いただきたいと思っております。続いて、資料2に基づき、パブリックコメントの結果についてご審議いただき、最後に資料3、4-1、4-2に基づき、答申（案）についてご審議をいただきたいと考えております。</p> <p>これまで、委員の皆様には非常に多くのご意見をいただき、ありがとうございました。本日の第4回が最終回となりますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>
阿部会長	<p>それでは、早速、審議に入っていきたいと思っておりますので、「次第1 第5次和泉市総合計画（改訂版）（案）の検討について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（資料1-1・資料1-2に基づき説明）</p>
阿部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただいま説明いただいた内容に関して、ご意見・ご質問はございませんでしょうか。</p>
阿部委員	<p>資料1-1のNo.4について、昨年度から市有地売却の公募期間を2週間から1か月に延長されたということですが、当該年度における市有地の売却予定を事前にまとめて公表いただくことは可能でしょうか。当該年度分を全て同時にというのは難しいかもしれませんが、せめて売却予定の2か月から3か月程度前には公表すべきであると思っております。</p>
事務局	<p>未利用の市有地については、売却予定の有無に関わらず、境界確定を完了するなどの条件が整った段階で公表することを検討しております。しかしながら、現時点では、その条件をどのようにするのかや、時期についても検討しているところであり、明確にはお答えすることができません。</p>
阿部会長	<p>他にご意見ございませんでしょうか。</p> <p>無ければ、「次第1 第5次和泉市総合計画（改訂版）（案）の検討について」の審議を終了いたします。</p>

	<p><b>■ 第5次和泉市総合計画（改訂版）（案）及び第2期和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）のパブリックコメント結果の検討について</b></p>
阿部会長	<p>続きまして、「次第2 第5次和泉市総合計画（改訂版）（案）及び第2期和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）のパブリックコメント結果の検討について」、事務局からご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>（資料2に基づき説明）</p>
阿部会長	<p>ありがとうございます。 ただいま説明いただいた内容に関して、ご意見・ご質問ございませんでしょうか。</p>
阿部委員	<p>これまで和泉市では、トリヴェール和泉の開発により人口が増加してきた経過がありますが、現在では宅地開発が縮小傾向にあります。近隣市では現在でも宅地開発が実施されており、まだまだ和泉市においても住宅のニーズはあると思いますので、宅地開発を進めていただきたいと思います。そうしないと、現在の人口を維持することも困難であると思います。</p> <p>また、全国的に合計特殊出生率が低下し、人口減少が進んでいる中、各市町村が様々な施策を講じて、人口減少に歯止めをかけようと取り組んでいます。そのような中で、他の自治体ときっちり差別化を図り、市の魅力を発信するとともに、住民サービスの充実を図っていかねば、和泉市を選んでもらえないと思います。</p> <p>例えば、和泉市のように建築主事がない市町村については、建築基準法に基づく確認申請などの手続きを行う場合、大阪府庁まで行く必要があります、非常に不便です。</p> <p>さらに、地番参考図については、ホームページ等で公開している市町村もありますが、和泉市ではわざわざ市役所に出向き、200円程度で購入する必要があるなど、他の市町村と比較して不便を感じる部分がありますので、人口減少に歯止めをかけるためにも、改善する必要があると思います。</p>
事務局	<p>何点か補足いたしますが、和泉市も他の市町村と同様に建築主事を設置しており、特定行政庁という位置づけになっており、また、地番参考図については、本市では紙資料の場合は20円、CD-Rの場合は100円でご提供できることになっております。</p> <p>また、宅地開発を進めるべきというご意見についてですが、近年は和泉市における大規模な宅地開発はございませんが、民間事業者の工場跡地を活用し、ディベロッパーが宅地開発をするなどの小規模開発は今後も想定されるため、移住・定住を促進するための魅力的なまちづくりを進めていきたいと考えてございます。</p>
阿部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>資料2における事務局対応方針の趣旨としては、全国的に人口減少が進んでいる中で、現実的に和泉市が人口20万人を目指すと言うのは非常に困難な目標であるものの、市の魅力向上や情報発信など様々な施策を講じて、人口減少に少しでも歯止めをかけるため取り組んでいくというものであると思います。中核市になれば、例えば市で保健所を設置でき、大阪府から権限が移譲されるという大きなメリットがありますが、人口20万人を目指すというのは</p>

山本委員	<p>非常に困難であることから、大阪府が権限を有する事務についても、大阪府等と密接な連携を図り、市民サービスを提供していくということが、事務局対応方針の趣旨だと思います。</p> <p>2点意見を言わせていただきます。</p> <p>まず、資料2のNo.1については、中核市になることで市の権限を大きくし、まちづくりに幅を持たすことができるのではないかとの意見だと思いますが、大阪府では、市町村への権限移譲が積極的に進められております。和泉市が中核市へ移行するというのは現実的には困難であります。中核市にならずとも、府から様々な事務権限を受けることは可能で、これまでも市として検討を行い、事務移譲を受けてきたと思いますので、中核市になることに限定せず、大阪府からの権限移譲に対する市の考え方についても、事務局対応方針に追加してはどうかと思います。</p> <p>続いて、No.2についてですが、事務局対応方針は、この意見の趣旨をハード部分での開発に限定したとらえ方をしていると思います。そのような趣旨に限定すると、和泉市としては、大型開発が予定されていないという回答になりますが、ハード部分の開発だけでなく、市街地のまちの魅力を更に高めていくという趣旨も含んでいるのではないかと思います。今後、都市計画の変更を行って人口流入を図るなどの方向性があるならば、そのような内容を、事務局対応方針に記載すれば良いと思いますので、ご検討いただければと思います。</p>
事務局	<p>まず1点目のご意見につきまして、中核市が法律上権限を有する事務に関しましては、例えば、障がい者手帳の交付や養護老人ホームの設置届出の受理などについて、大阪府独自の権限移譲制度に基づき、移譲を受け実施しているものがあります。今後も他市の動向も踏まえながら、大阪府と連携し、権限移譲等につきまして、検討してまいりたいと思っておりますので、その旨の追記について検討いたします。</p> <p>2点目のご意見につきましても、改めて検討させていただきたいと思っております。</p>
阿部会長	<p>他にご意見はございませんでしょうか。</p> <p>それでは、本日いただいたご意見を踏まえ、再度、事務局にてパブリックコメントの対応方針について、修正を検討させていただきたいと思っておりますが、修正内容については、私に一任いただければと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p>
阿部会長	<p>それでは、「次第2 第5次和泉市総合計画（改訂版）（案）及び第2期和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）のパブリックコメント結果の検討について」の審議は以上といたします。</p> <p>■ 第5次和泉市総合計画（改訂版）（案）及び第2期和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）への答申（案）の検討について</p>
阿部会長	<p>続きまして、「次第3 第5次和泉市総合計画（改訂版）（案）及び第2期和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）への答申（案）の検討について」、事務局から説明をお願いし</p>

事務局	<p>ます。</p> <p>(資料3・資料4-1・資料4-2に基づき説明)</p>
阿部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>資料3の答申(案)鑑文については、委員の皆様からいただいたご意見のうち、特に多かったものや、両計画(案)の修正に大きく影響したものを、総括して記載しています。</p> <p>まず、「1 転入促進」についてですが、当初の総合計画(改訂版)の事務局案では「定住の促進」が中心で、市の魅力を高め、今住んでいる市民に愛着を持ってもらうことが重要であるという方向で構成されていたと思います。それに対して、委員の皆様からは、定住促進だけでなく、市の魅力を高めることで、市外からの転入促進にも注力していくべきであるというご意見いただきました。</p> <p>続いて「2 感染症対策について」ですが、現在、新型コロナウイルス感染症が日本全体に深刻な影響をもたらしている中で、感染症対策等について記載すべきであるというご意見が多かったと思います。</p> <p>続いて「3 情報発信について」ですが、転入の促進を図るため、市民への適切な市政情報の発信だけでなく、市外に対して市の魅力を発信していくということも非常に重要であるというご意見が多かったと思います。</p> <p>最後に「4 その他」ですが、市単独で施策を実施するだけでなく、民間企業などが持つノウハウも活かし、連携を図りながら施策展開をすべきであるというご意見もいただきました。</p> <p>このようなご意見を踏まえ、答申(案)鑑文を作成いただいています。</p> <p>それでは、ただいまご説明いただいた内容に関して、ご意見・ご質問ございませんでしょうか。</p>
山本委員	<p>3点、意見を言わせてください。</p> <p>まず1点目ですが、答申(案)鑑文の中で、「1 転入促進について」の下から4行目に「ICTを活用した教育環境の充実について『検討する』」と記載されており、それと連動して、総合計画(改訂版)42ページの重点施策06に「児童・生徒に1人1台のパソコンを整備し、ICTを活用した授業づくりに取り組むとともに、オンライン学習など、家庭学習の支援について、検討を進めます」という記載があります。42ページの記載についてですが、1人1台のパソコンを整備することは、検討段階ではなく、既に決定しておりますので、「検討を進めます」という表現を、修正してはどうかと思います。また、答申(案)鑑文の表現についても、ICTの活用は、教育環境の充実にかかる1つの例であるため、子育て環境や教育環境の充実など、もう少し大きな観点で記載すべきではないでしょうか。</p> <p>2点目として、転入促進についてですが、住宅として空き家を活用するという方法はあるものの、新たな住宅開発が進まなければ、市外からの転入を促進することは困難だと思っております。和泉市の都市部においては、市街化区域と市街化調整区域が不整形な形で入り混じっており、特に市の北部において顕著であり、これが、新たな開発を阻害する要因になっ</p>

事務局	<p>ているで、転入促進を図るために、都市計画の見直し等についても、答申（案）鑑文の中で、記載いただきたいと思ひます。</p> <p>最後に3点目ですが、第2期総合戦略の16ページの第2節まちづくりの目標と政策の取り組み方において、「東京圏への一極集中の是正を目指すため」という記載があります。東京圏への一極集中の是正は、大阪府全体として取り組むべきものであり、1つの市が総合戦略に掲げる目標としては、大きすぎるのではないかと思ひます。少し違和感がありますので、再検討いただきますようお願いいたします。</p> <p>まず、1点目のご意見についてですが、児童・生徒に1人1台のパソコンを整備し、感染症などの有事の際に、それを活用してオンライン授業を行うということ自体は、既に決定しております。しかしながら、学校の宿題やいずみ希望塾などの家庭学習においても、ICTを活用することが必要であり、現時点ではその内容や手法等が検討できておりませんので、このような表現にしているものでございます。</p> <p>次に、2点目の転入促進を図るための都市計画の見直しに関しましては、担当課とも調整の上、事務局にて答申の修正を検討いたします。</p> <p>次に、3点目のご意見でございますが、委員ご指摘のとおり、和泉市だけで「東京一極集中の是正」を実現することは困難であると思ひますが、各市町村がそれぞれこの目標に向かって取り組んでいくことで、結果的に目標達成ができるのではないかと意味も含めて記載しているところでございまして、国の総合戦略から引用した内容でございます。こちらのほうも再度事務局にて検討させていただきます。</p>
山本委員	<p>1点目について、内容は理解できました。ただ、重点施策の記載としては「検討を進めます」ではなく「推進します」でもよいのではないかと思ひます。</p> <p>3点目について、市の総合戦略は、市としての方向性を示すもので、国の総合戦略に引張られなくてもいいと思ひますが、記載の修正が必要かどうかも含めて、再検討いただければと思ひます。</p>
阿部会長	<p>東京一極集中を是正し、地域の活性化を図るといふ地方創生を実現するためには、国全体が一丸となって取り組む必要があり、和泉市もその実現に向けて取り組むべく東京一極集中の是正を目指す旨、記載しているということだと思ひます。</p> <p>委員ご指摘のとおり、和泉市だけで東京一極集中を是正することは困難ですが、全国の市町村がそれぞれ、地域の魅力を高めて人口流出に歯止めをかけ、人口流入を図ることで、やっとな東京一極集中がある程度緩和されるということだと思ひますので、和泉市の取組みも最終的には東京一極集中の是正に繋がっていくという捉え方をしてもいいのではないかと思ひます。</p>
中野委員	<p>2点、意見を言わせてください。</p> <p>まず1点目ですが、先ほど、転入促進に係る都市計画の見直しに関するご意見がありました。もし、答申に新たな都市計画の見直しによる住宅開発について記載するのであれば、既</p>

	<p>存ストックの有効活用についても、記載してはどうかと思います。</p> <p>和泉市は、これまでトリヴェール和泉の開発に伴って人口が増加してきましたが、他の市町村のニュータウンと同様に、和泉市でも、近い将来、空き家が急速に増加する時代が来るのではないかと思います。また、民間企業等による様々な調査の結果によると、特に今の若い世代は、中古住宅に住むことについて抵抗が少なく、中古住宅をリフォームして住まれているケースも多いようです。開発の促進も有効な手段だとは思いますが、このような時勢であることを踏まえて、市の施策としてのバランスをとる意味でも、開発の促進と既存ストックの有効活用という2点を記載する方がいいのではと思います。</p> <p>続いて2点目ですが、総合計画（改訂版）において、もう少し交流人口の拡大に係る内容を記載すべきであると思います。総合計画（改訂版）の15ページ「(2) 交流人口の拡大」において、交流人口や昼間人口の増加に係る記載はありますが、「交流人口の拡大を図り、市外からの転入促進に繋げる」という内容を、他のどこかに記載できないでしょうか。</p> <p>和泉市には、大阪市や堺市のように観光の目玉となる施設がなく、なかなか訪れてもらう機会がありませんので、和泉市の良さ・特徴というのが市外の人になかなか理解されていないように思います。インターネット等で、市の魅力を発信することも必要ですが、住んでいただくには、実際に訪れて、和泉市の良さを感じてもらうことが重要です。このことから、和泉市に訪れてもらうための仕掛けが必要であると思いますが、総合計画（改訂版）には、交流人口を増やすためのイベント等の取組みに関する記載があまりないように感じます。事務局に1点質問ですが、今、和泉市による集客イベントで、訪れる人数が多いのは、どのイベントでしょうか。</p>
事務局	<p>最後のご質問だけ簡単にお答えさせていただきますと、信太山クロスカントリーが、最も来訪者の多いイベントだと考えております。また、現在は開催方法が変わっていますが、和泉市商工まつりも非常に来訪者の多いイベントでした。</p>
中野委員	<p>確かにクロスカントリーは参加人数も多く、市外からの来訪者も多いと思います。他には、和泉の国ジャズストリートなども来訪者の多いイベントだと思いますが、他の市町村に比べると、市外から人を呼び込むイベント等が少ないと思っています。市外からの転入促進につなげるためにも、「交流人口を増加させるような新たな施設の誘致やイベントの開催等について、民間事業者とも連携を図りながら取り組んでいく」という方向性がこの計画全体としては不足しているのではないかと思います。</p>
阿部会長	<p>広い意味では、シティープロモーションをもっと多面的、多角的にやっていくということだと思います。どこまで具体的に書くかということは、再検討する必要があると思います。</p>
山本委員	<p>すみません、私の意見の中の「開発」という部分について、私の思っている意味合いと、皆さんの受け取った意味合いが異なっているかもしれないので、補足させていただきます。私は、市が新たな開発を進めていくということではなく、民間事業者による開発を促進するための手段として、都市計画を見直すことが有効であると考えています。もちろん、既存ス</p>



阿部会長	<p>トックの有効活用も重要ですが、土地利用をする場合、市街化区域と市街化調整区域が入り混じっている土地よりも、ある程度まとまった土地の方が、民間事業者を誘致しやすいのではないかという意見です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>いただいたご意見を全て記載できるか分かりませんが、転入促進策として、適切な居住環境を整備し、住みやすいまちにするということであると思いますので、再検討いたします。</p>
吉川委員	<p>答申（案）鑑文の「1 転入促進について」の中で、「ICTを活用した教育環境の充実について検討」とありますが、和泉市では、教育環境の充実に向けた施策として、ICTの活用だけでなく、いずみ希望塾やALTの活用など、様々な施策に取り組んでおり、ICTの活用は、あくまでも教育環境の充実に向けた1つの手法であると思います。</p> <p>先ほども少し意見がありましたが、「ICTを活用した教育環境の充実」ではなく、「教育環境の充実のためのICTの活用」という記載にすべきだと思います。</p> <p>以前、近隣市町村に先駆けて和泉市が中学校給食を実施した際、他市町村から和泉市への転入が増加したという事例もあるというのを聞いておりますので、教育環境の充実の1つとして、和泉市はICTを様々な形で活用しているということを、市外に向けて発信していくことができればと思います。</p>
事務局	<p>委員ご指摘の趣旨を踏まえ、修正を検討いたします。</p>
阿部委員	<p>先ほど、東京一極集中の是正について、和泉市だけでは目標達成は困難であるという話がありましたが、泉州地域の市町村で連携して、観光振興等に取り組むことが有効であると思います。泉州地域全体でイベントを開催するなど様々な手法で地域の魅力を発信することによって、転入促進につながっていくと思います。その他にも、広域連携によって効率的な取組みができるのではないのでしょうか。</p> <p>また、教育環境の充実については、ICTを活用して、優秀な教員の授業が家にいても受けることができるサテライト授業を実施するなど、学力向上に向けた取り組みをご検討いただければと思います。</p>
事務局	<p>一点目のご意見についてですが、既に泉州地域の市町村が観光分野で広域連携して、DMOを立ち上げ、観光振興に取り組んでおります。また、大阪府から権限移譲された事務のうち、児童福祉施設の許認可等については、岸和田市や貝塚市等と広域事業者指導課を設置し、広域連携により効率的に事務を執行するなど、取組みを進めているところでございます。</p> <p>これ以外にも、公共施設の設置など様々な広域連携の手法があると思いますので、今後も検討していきたいと考えております。</p> <p>2点目のご意見、教育環境の充実につきましては、いただいたご意見を、事業担当課にも伝え、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>

阿部委員	<p>また、市の支出を伴う取組みではないですが、和泉市の市役所や和泉市立総合医療センターの職員のみなさんは、いつも非常に親切に対応してくださり、おもてなしの精神が醸成されていると思います。学校においても、あいさつ運動など非常に気持ちが良い取組みをされており、このような対応をされると、市外の人、また和泉市に来たいと思ってくれるはずですので、今後も続けていただきたいと思います。</p>
阿部会長	<p>他にご意見ございませんでしょうか。</p> <p>皆様から多くのご意見をいただきましたので、再度、事務局にて内容を検討いただき、修正を検討いただきたいと思います。修正内容については、私に一任いただければと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p>
阿部会長	<p>それでは、「次第3 第5次和泉市総合計画（改訂版）（案）及び第2期和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について（答申）（案）」の審議は以上といたします。</p> <p><b>■ 今後のスケジュール等について</b></p>
阿部会長	<p>続きまして、「次第4 今後のスケジュール等について」事務局からご説明お願いいたします。</p>
事務局	<p>(資料5に基づき説明)</p>
阿部会長	<p>ありがとうございます。ただいま説明いただいた内容に関して、ご意見・ご質問ございませんでしょうか。</p> <p>(質問等、なし)</p>
阿部会長	<p>特にご意見等はないようですので、このスケジュールで進めていただきたいと思います。</p>
阿部会長	<p><b>■ 閉会</b></p> <p>以上で、本日の議事次第は全て終了となります。最後に私から、本審議会全体の感想を述べさせていただきます。</p> <p>当初、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、審議会開催自体が危ぶまれる中、無事に4回開催できたことは、非常に良かったと思っています。実際に開催してみると、現在の社会情勢を鑑み、委員の皆様からも、感染症対策等のご意見が非常に多く出され、その内容を反映した答申にすることができました。</p> <p>昨今、「withコロナ」という表現が、様々な場面で使われており、今後は新型コロナウイルス感染症とうまく付き合っていながら生活することが求められており、そのような考え方に沿った総合計画の改訂版になったかと思っています。新型コロナウイルス感染症により、</p>

事務局	<p>私達の生活に大きな影響があった中で、感染拡大防止策として、テレワークの普及が進んだことで、密をさける上でも、職場近隣の都市部のアパートに住むよりも、職場から離れた和泉市のようなところで、戸建て住宅に住む方が良いという人が増えるのではないかと考えられます。この新型コロナウイルス感染症による社会の変化が、和泉市にとっては、転入を促進する好機になるのではないかとというご意見もありました。</p> <p>現在の社会情勢をうまく逆手に取って、和泉市の魅力をもう一度再確認し、それを市外にアピールしていく必要があるのではないかとという議論も有り、このような議論は非常に有意義であったと考えております。</p> <p>委員の皆様からのご意見を総括すると、和泉市のような郊外の市への移住思考の高まりに加えて、教育環境の充実など、市の魅力を高めていくことも重要であり、withコロナの時代に、ここに住んでみたいと思えるような和泉市にしていくべきであり、そのような方向性を総合計画で示すことが重要であるという内容であったと思います。</p> <p>委員の皆様からいただいたご意見が、どこまで総合計画（改訂版）や第2期総合戦略に反映できたのか、若干心もとない部分もあります。しかしながら、文章として両計画に盛り込めなかった部分につきましても、議事録の形で残っており、意見として事業担当課へも届いているということです。本審議会でも委員の皆様にご意見いただき、その意見に対し、和泉市として返答をいただいたということは、それ自体が重い意味は持っていると思います。本審議会での議論がこれからの和泉市の市政運営にうまく活かされて、ウィズコロナの時代に魅力のある市をつくっていくということを期待しております。</p> <p>委員の皆様には、本当に重要なご意見を多く出していただき、真剣に議論をしていただいて、本当にありがたく思っております。当初、全5回の開催を予定しており、1回中止になってしまい、審議を終えることができるのか不安な部分はありましたが、メール等でご意見を出していただくなどご協力いただいたことで、全4回という短い時間の中で無事に審議を終えることができました。</p> <p>審議会以外の時間でも両計画について思案していただいたことにも感謝いたしまして、私の会長としての最後の言葉とさせていただきます。本当にどうもご協力いただき、ありがとうございました。</p> <p>最後に、事務局から連絡事項等の説明をお願いいたします。</p> <p>阿部会長、ありがとうございました。</p> <p>本日は長時間にわたり、答申（案）等をご検討いただきまして、ありがとうございました。また、本日を含め4回にわたり審議を重ねていただきましたこと、お礼を申し上げます。</p> <p>また、会議録につきましては、第2回と第3回の会議録を配付させていただいております。お忙しい中、誠に恐縮ではございますが、9月4日、金曜日までにご確認をいただきまして、修正等が必要な場合は、メールや電話等でご連絡をいただけたらと存じます。本日の第4回の会議録につきましても、後日、メール等でご連絡を差し上げたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、審議会の閉会に当たりまして、市長よりご挨拶を申し上げます。</p>
-----	---

<p>辻市長</p> <p>司会</p>	<p>■ 閉会挨拶 (市長あいさつ)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、これにて第4回和泉市総合計画審議会を終了させていただきます。長時間にわたり、誠にありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
----------------------	---